

(別添資料1)

事業所名

総合発達支援デイサービス きぼう古河

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		地域に根差した医療福祉、地域に必要とされる医療福祉						
支援方針		ご家族、地域の方々と共に、遊びを軸に、楽しみながら児童の身辺自立、社会性を養っていく						
営業時間			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・生活リズムを含めた児童の体調を把握します。 ・その児童なりに日常生活でできることを増やします。 ・視覚化をし、生活の流れや時間などをわかりやすく提示します。						
	運動・感覚	・感覚統合理論を基に発達促進できるよう、楽しく粗大運動、微細運動を行います。 ・本人の遊びの段階を考慮し、適切な活動ができるよう予定に反映させます。 ・JSI-Rのツールを参考にして本人に合った支援を行います。						
	認知・行動	・ソーシャルスキルトレーニングによりお友達との関り方やルール理解などの社会性を身に付けていきます。 ・障害特性に合わせて衝立や構造化など環境的配慮を行います。 ・行動療法を使いやってはいけない行動を減少させ、好ましい行動を増やします。						
	言語 コミュニケーション	・興味をもったものに言葉を添えていき、わかること、わかることがらを増やします。 ・やってほしいことを汲み取り行わず、ジェスチャーやサイン、言葉で伝えられるよう、アクションを起こしてもらうよう支援します。 ・相手の話しも聞くことができるよう、順番におしゃべりする等のルールを決めて一方的なコミュニケーションにならないよう支援します。						
	人間関係 社会性	・スタッフと安心安全の基地機能の絆を形成します。 ・ものの貸し借りや順番を守れるよう、気持ちのコントロールができるよう練習をしていきます。 ・指示に応じたり、簡単なルールや役割の理解をしたりしながら集団活動への参加を促します。						
家族支援		・利用時の様子をLINEにて、必要に応じて画像や動画を添付しわかりやすくお伝え共有します。 ・最低半年に1度、また必要に応じて面談を行い今後の課題抽出や支援方法について話し合い、個別支援計画に反映させます。				移行支援	・必要に応じて就学先など、移行先にお子さんの発達やこれまでの支援経過、支援方法等に関する情報を共有し、地域の進出の後方支援を行います。	
地域支援・地域連携		・必要に応じて学校等、児童が通う事業所に見学、またはきぼうでの様子を見学してもらう等、連携を取って支援します。 ・地域参加型の研修会を年2回以上実施し障害理解促進に貢献します。				職員の質の向上	外部研修、内部研修を積極的に行い、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。	
主な行事等		地域参加型研修会(ペアレントトレーニング、障害特性、感覚統合)を年2回以上実施。						